

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社EMCOMホールディングス

コード番号 7954 URL <http://www.hd.emcom.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 楊 燕姫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 李 正先

TEL 03-5436-4280

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,431	23.8	△729	—	△733	—	△2,123	—
23年12月期第3四半期	1,964	△63.0	△110	—	△59	—	△195	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 △2,091百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△76.89	—
23年12月期第3四半期	△7.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	3,092	1,488	46.7	52.30
23年12月期	4,507	3,722	77.8	126.93

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,444百万円 23年12月期 3,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,316	33.7	△804	—	△808	—	△2,204	—	△79.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名） イーツアー株式会社、除外 2社（社名） 株式会社EMCOM CONSULTING、英脈特信息技术(無錫)有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	27,631,331 株	23年12月期	27,631,331 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	11,736 株	23年12月期	11,407 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	27,619,724 株	23年12月期3Q	27,620,123 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている見通しとは大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き米国景気の減速懸念や欧州における財政不安に加え、中国をはじめとする新興国での成長鈍化など、世界経済全体で先行きが不透明な状況が続いております。

また、日本経済においては、東日本大震災の影響から緩やかに回復をしつつも、復興政策の遅れや、円高などにより依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は24億31百万円（前年同期比23.8%増）となりました。損益につきましても同様の影響により、営業損失は7億29百万円（前年同期は1億10百万円の営業損失）、経常損失は7億33百万円（前年同期は59百万円の経常損失）、四半期純損失は21億23百万円（前年同期は1億95百万円の四半期純損失）となりました。

主なセグメントの状況につきましては下記のとおりですが、セグメント区分外の主たる事業である資源流通事業に関しましては、平成24年4月24日付お知らせいたしましたとおり、当社及び当社子会社である株式会社PHYLLITE（旧EMCOMトレーディング株式会社）において本格的に事業を開始いたしました。これは千枚岩（フィライト）の販売及び汚染土壌除去システムを基軸とした資源流通事業であります。また、日本大学産官学連携知財センターを通じて「汚染土壌処理システム」に関するPCT出願（国際出願）手続きも完了しております。また、平成24年11月1日付で連結子会社である株式会社PHYLLITE、株式会社EMCOM CAPITAL及び株式会社EMCOMヘルスケアの3社を合併し、株式会社PHYLLITEを存続会社といたしました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

〔金融・システム開発事業〕

金融・システム開発事業は、その主要な子会社であった株式会社EMCOM CONSULTING、英脈特信息技術（無錫）有限公司及び英科陸軟件技術（大連）有限公司の全株式（全持分）を譲渡した結果、当第3四半期連結累計期間における収益は軽微であったため、当第3四半期連結累計期間における金融・システム開発事業の売上高は6億12百万円、セグメント利益は32百万円となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業につきましては、医療法人向け賃貸施設として所有しておりました固定資産を、グループ全体の経営資源の集中と効率化及び財務体質の強化を図るため、売却譲渡いたしました。このような施策のもと、業務効率の向上と収益基盤の安定化に努めた結果、当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は70百万円、セグメント損失は92百万円となりました。

〔旅行商品販売事業〕

旅行商品販売事業は、第1四半期連結累計期間において株式取得により新たに当社グループに加わるようになったセグメントです。

業種上、多少の季節変動はあるものの、年間を通じて安定した収益が狙える事業であります。また、競争相手となる同業他社も多くありますが、その中でもインターネットのみを利用した販売に特化している点など、他社との差別化を図り、競争優位性を保つ企業体制を目指しております。当第3四半期連結累計期間における旅行商品販売事業の売上高は17億76百万円、セグメント損失は3百万円となりました。

〔エンタテインメント事業〕

エンタテインメント事業は、第1四半期連結累計期間において株式取得により新たに当社グループに加わるようになったセグメント区分です。欧州と米国、アジア等での試合イベントだけではなく、ONLINE、MOBILEコンテンツでの収益が強く見込まれるK-1事業を展開することといたしました。K-1は、空手、キックボクシング、カンフー、拳法などの立ち技競技を複合した新しいスタイルの格闘技として幅広い年齢層に絶大な人気を得ている格闘技イベントです。平成24年5月にはスペインマドリード、平成24年10月には両国国技館において大会が開催されましたが、新生K-1としての宣伝広告費用等により費用が先行する形となっており、当第3四半期連結累計期間におけるエンタテインメント事業の売上高は43百万円、セグメント損失は3億2百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末と比較して14億円15百万円減少して30億92百万円となりました。これは主に連結子会社の譲渡に伴い、流動資産において現金及び預金が4億46百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が2億34百万円減少したこと及び長期貸付金が5億79百万円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して8億18百万円増加して16億3百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6億7百万円増加したことおよび短期借入金が1億16百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産残高は、前連結会計年度末と比較して22億33百万円減少し、14億88百万円となりました。これは主に、四半期純損失により利益剰余金が21億23百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、新規事業が当初の事業計画よりも遅れたことなどに伴い、当初の業績予想が大幅に変更する見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年11月14日）公表いたしました、「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したK-1 Global Holdings Limited及びイーツアー株式会社、イーツアー株式会社の子会社である億旅（上海）信息技术有限公司を連結の範囲に含めております。

当社の保有する英脈特信息技术（無錫）有限公司の全持分及び当社100%連結子会社であるEMCOM株式会社が保有する、英科睦軟件技術（大連）有限公司の全持分を譲渡したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、当社100%連結子会社であるEMCOM株式会社は、平成24年2月に同社が保有する、株式会社EMCOM CONSULTINGの全株式を、株式会社外為ジャパン及びプラネックスフォースシステムズ株式会社の両社に株式譲渡したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は24億31百万円となり、前年同期比では23.8%の増収となっているものの、営業損失は7億29百万円、経常損失は7億33百万円、四半期純損失は21億23百万円となり、前連結会計年度及び第2四半期連結累計期間に引き続き営業損失を計上することになりました。

また現金預金残高が73百万円（前連結会計年度末残高5億20百万円）と減少し、短期有利子負債が1億16百万円と短期資金のバランスが悪化しております。

そのため、当該事象による継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が生じております。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	520,024	73,674
受取手形及び売掛金	252,611	18,286
有価証券	159,640	5,798
たな卸資産	477,777	1,477,474
その他営業債権	100,000	158,671
短期貸付金	378,518	181,903
繰延税金資産	7,561	—
その他	309,479	264,257
貸倒引当金	△5,252	△46,718
流動資産合計	2,200,360	2,133,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	846,575	2,667
その他（純額）	143,937	27,266
有形固定資産合計	990,512	29,933
無形固定資産		
のれん	458,587	160,933
商標権	—	528,700
その他	289,591	52,725
無形固定資産合計	748,179	742,358
投資その他の資産		
長期貸付金	979,950	400,000
その他	629,788	486,293
貸倒引当金	△1,041,681	△699,889
投資その他の資産合計	568,057	186,403
固定資産合計	2,306,748	958,696
資産合計	4,507,109	3,092,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,020	620,637
未払金	112,853	134,729
短期借入金	—	116,793
前受金	41,373	215,449
未払法人税等	4,375	173,662
未払消費税等	—	54,835
賞与引当金	29,958	2,983
その他	250,320	42,614
流動負債合計	451,902	1,361,706
固定負債		
退職給付引当金	11,935	5,322
資産除去債務	7,306	—
繰延税金負債	6,634	—
その他	306,814	236,259
固定負債合計	332,690	241,582
負債合計	784,592	1,603,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	756,854	756,854
利益剰余金	2,817,748	694,128
自己株式	△15,475	△15,495
株主資本合計	3,559,126	1,435,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,242	274
為替換算調整勘定	△60,552	8,619
その他の包括利益累計額合計	△53,310	8,894
少数株主持分	216,699	44,374
純資産合計	3,722,516	1,488,756
負債純資産合計	4,507,109	3,092,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,964,398	2,431,336
売上原価	396,043	2,037,492
売上総利益	1,568,355	393,844
販売費及び一般管理費	1,678,357	1,123,596
営業損失(△)	△110,002	△729,751
営業外収益		
受取利息	50,223	10,966
受取配当金	—	8,487
有価証券売却益	21,602	10,864
有価証券評価益	4,727	—
為替差益	—	26,137
その他	9,929	2,993
営業外収益合計	86,482	59,449
営業外費用		
支払利息	—	423
為替差損	24,271	—
貸倒引当金繰入額	8,569	55,440
その他	2,654	7,580
営業外費用合計	35,496	63,444
経常損失(△)	△59,015	△733,746
特別利益		
投資有価証券売却益	—	218,335
貸倒引当金戻入額	51,495	—
役員退職慰労引当金戻入額	5,733	—
匿名組合脱退益	—	5,526
退職給付引当金戻入額	—	6,713
新株予約権戻入益	72,566	—
その他	—	6,596
特別利益合計	129,794	237,172
特別損失		
固定資産除却損	234	467
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,093	—
減損損失	78	536,224
関係会社株式売却損	—	451,290
有価証券評価損	—	121,242
固定資産売却損	—	357,592
その他	3,209	11,816
特別損失合計	7,616	1,478,631
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	63,162	△1,975,206
法人税、住民税及び事業税	1,433	178,535
法人税等合計	1,433	178,535
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	61,729	△2,153,742
少数株主利益又は少数株主損失(△)	257,630	△30,122
四半期純損失(△)	△195,900	△2,123,619

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	61,729	△2,153,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,517	△6,967
為替換算調整勘定	△38,752	69,082
その他の包括利益合計	△45,269	62,114
四半期包括利益	16,459	△2,091,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△225,359	△2,061,504
少数株主に係る四半期包括利益	241,818	△30,122

（３）継続企業の前提に関する注記

当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は24億31百万円となり、前年同期比では23.8%の増収となっているものの、営業損失は７億29百万円、経常損失は７億33百万円、四半期純損失は21億23百万円となり、前連結会計年度及び第２四半期連結累計期間に引き続き営業損失を計上することになりました。

また現金預金残高が73百万円（前連結会計年度末残高５億20百万円）と減少し、短期有利子負債が１億16百万円と短期資金のバランスが悪化しております。

そのため、当該事象による継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が生じております。

そこで、当社グループは当該状況を解消すべく、引き続き、次の施策を実施してまいります。

エンタテインメント事業においては、世界的な格闘技イベント「K-1」ブランドをライセンス化しワールドワイドな事業展開を進め、販路拡大を図ります。

資源流通事業においては、日本大学工学部との共同研究により、各省庁や自治体からも注目されている汚染土壌の洗浄剥離による『放射能汚染土壌の除染システム』を開発しました。また、有機農業にも使用されてきたフィライト（千枚岩）を、土壌・水質改良剤として販売するための販路構築を促進させてまいります。

旅行商品販売事業においては、旅行の持つ商品特性とインターネットの利便性の相乗効果について考え、顧客へのメリットを最優先にした新たな商品開発を積極的に行い、バリューアップを図ります。

一方、投資及び借入等の資金調達を視野に入れるとともに、本社事務所の徹底的なコストダウンを引き続き実施し、人員配置の適正化や削減を図ることにより、業務の効率化、固定費削減等に努めてまいります。

また、当社は、当社の事業にご理解いただける関係者との間で融資及び投資等今後の対応策について詳細を協議しているところですが、現時点では最終的な合意には至っておらず、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	金融・システム開発 事業	不動産事業	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,846,568	117,830	1,964,398
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,617	—	10,617
計	1,857,185	117,830	1,975,015
セグメント利益又は損失（△）	177,563	△22,060	155,502

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	155,502
セグメント間取引消去	198,181
全社費用（注）	△463,686
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△110,002

（注） 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	金融・システム 開発事業	不動産事業	旅行商品 販売事業	エンタテインメント 事業	
売上高					
（1）外部顧客への売上高	550,484	70,189	1,767,168	43,494	2,431,336
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	61,660	—	9,794	—	71,454
計	612,144	70,189	1,776,963	43,494	2,502,791
セグメント利益又は損失（△）	32,985	△92,418	△3,635	△302,893	△365,960

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△365,960
セグメント間取引消去	71,454
全社費用（注）	△435,245
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△729,751

（注） 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、事業拡大を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「金融・システム開発事業」及び「不動産事業」の2区分から、「金融・システム開発事業」、「不動産事業」及び「旅行商品販売事業」、「エンタテインメント事業」の4区分に変更しております。

なお、当該組織変更を反映した前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	金融・システム 開発事業	不動産事業	旅行商品 販売事業	エンタテインメント 事業	
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	1,846,568	117,830	—	—	1,964,398
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,617	—	—	—	10,617
計	1,857,185	117,830	—	—	1,975,015
セグメント利益又は損失（△）	177,563	△22,060	—	—	155,502

（注） 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結会計期間（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）

（連結子会社の合併）

1. 合併の概要

当社は、当社の連結子会社である株式会社PHYLLITE、株式会社EMCOM CAPITAL及び株式会社EMCOMヘルスケアの3社を、平成24年11月1日付で合併いたしました。

当社グループは資源流通事業、エンタテインメント事業及び旅行商品販売事業の3本柱を事業の軸とした企業集団を形成し、経営活動を行っております。

平成24年7月2日付で社名変更を行いました株式会社PHYLLITEは、本格的に資源流通事業を開始しており、フィライト（千枚岩）の販売を基軸とした資源流通事業に参入しております。

一方で、株式会社EMCOMヘルスケアにつきましては、平成18年2月に不動産コンサルティング、仲介業務を主として設立し、グループ経営の中で特に不動産事業の多角化の基軸として収益の拡大を図り、不動産を柱として一定の収益を確保してまいりましたが、昨今の厳しい経済環境の中において、グループ全体としての事業戦略の一環として、不動産事業の縮小を図っております。また、株式会社EMCOM CAPITALに関しましても、株式や不動産に対する積極的投資活動は現在行っておりません。

今回、上記3社の合併を行ったことで、グループ全体としての意思決定の迅速化を図りながら、経営資源の集中と業務の効率化を行い、経営効率の向上を目指すものであります。

また、上記3つの事業に特化し経営資源をより適切に配分するため、連結子会社間で重複する経営資源を再構築し、営業効率を高めるとともに生産性及び収益性の向上を図り、さらなる事業展開を目指してまいります。

2. 合併の方法

株式会社PHYLLITEを存続会社、株式会社EMCOM CAPITAL及び株式会社EMCOMヘルスケアを消滅会社とする吸収合併方式にて行います。

3. 合併に係る割当の内容

本合併は完全子会社間の吸収合併ではないため、交付金の支払いはありません。しかし、株式会社PHYLLITEは、本合併に際し当社に対し、普通株式18,751,073株を発行いたします。

4. 合併当事会社の概要（平成24年9月30日現在）

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社	吸収合併消滅会社
(1) 商号	株式会社 PHYLLITE	株式会社 EMCOM CAPITAL	株式会社 EMCOMヘルスケア
(2) 事業内容	資源流通事業	コンサルティング事業	ヘルスケア事業
(3) 資本金の額	4億50百万円	5億55百万円	10百万円
(4) 発行済株式数	1,637万6,128株	1万4,300株	200株
(5) 純資産	△9億94百万円	32億48百万円	△7億84百万円
(6) 総資産	8億3百万円	34億50百万円	7百万円
(7) 直前事業年度の経営成績			
売上高	1百万円	6百万円	155百万円
当期純利益	△30百万円	△4百万円	△3億86百万円

5. 合併後の会社の名称等

(1) 商号	株式会社PHYLLITE
(2) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 李 正先
(3) 資本金の額	4 億50百万円

6. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき「共通支配下の取引等」の会計処理を適用いたします。